

• 4: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 委員長、最終盤です。よろしく願いをいたします。

私からは新年度予算について幅広く、後段は菊地崇良議員から厳しく行っていきたいというふうに思います。

明日で東日本大震災から11年を迎えます。過日、テレビ番組、深イイ話で、仙台市消防局が取り上げられました。その内容をお聞かせください。

• 5: ○消防局長

検索語: なし

○消防局長 今回放映されましたテレビ番組につきましては、消防、救急、指令業務等の現場の最前線で活躍する女性消防職員の姿を広く紹介するとともに、現場の臨場感や緊張感、そして東日本大震災の活動を通しての思いと教訓をお伝えするというものでございまして、私どもといたしましては、御覧いただいた方に消防活動への理解を深めていただくことができた内容になったものと考えてございます。

番組の中でも触れておりましたが、現在、消防局職員の約4割が東日本大震災以降に採用されておりますことから、震災の教訓や経験で培った技術等の伝承に引き続き取り組んで、大規模災害等への備えを怠ることなく、市民の皆様の安心・安全の確保に努めてまいりたいというふうに住じます。

• 6: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　私もTVerでも拝見をいたしました。そしてDVDも頂きました。非常に素晴らしい取組、34名の女性隊員の活躍、そして何より東日本大震災での女性消防員の取組、非常に素晴らしいなというふうに思います。

改めてでありますけど、お亡くなりになられた方、また関連死でお亡くなりになられた方にもお悔やみを申し上げ、今日に生きている一人の人間として、仙台市議会として、しっかりと仕事を果たしていきたいというふうに思います。

それでは、ロシアのウクライナ軍事侵攻について、我が会派からも断固抗議し、ロシア軍の速やかな撤退を求めます。ベラルーシ共和国ミンスク市との姉妹都市について、大きな疑問が投げかけられています。しかしながら、市民交流は否定をいたしません。真の友好とは、駄目なことは駄目と言える関係づくりが必要であります。さらなる協力や支援があった際は、時期を逸することなく国際姉妹都市破棄も行うことを求めますが、市長の御所見をお伺いいたします。

• 7: ○市長

検索語: なし

○市長　ミンスク市とは、昭和48年の姉妹都市締結以来、市民レベルで継続的に交流が行われてきたところでございます。

国際姉妹都市等との交流につきましては、両市の市民の相互の理解と信頼を基礎として実施されるべきものと考えております。しかしながら、今の状況というのがその信頼関係を揺るがしかねない事態と捉えておりまして、ミンスク市に対しまして、当面の間、交流を見合わせる

ことをお伝えしたいと考えているところでございます。

• 8: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 昨日の答弁と変わっておりませんが、とにかく時期を逸することなく、そういったことも視野に入れて行っていただきたいというふうに思います。

一方で、国際姉妹都市、友好都市を促進していく都市もあると考えております。この際だから全てを見直していただきたいというふうに思っております。

ちなみに、台南市を交流促進協定都市としている理由をお伺いしたいというふうに思います。

• 9: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 いわゆる姉妹都市というふうに申し上げますけれども、仙台市の場合には姉妹都市提携、それから友好都市提携、それから特定の分野に絞って交流を行う都市ということで交流促進協定締結都市、あるいは産業振興に関する協定締結都市というような呼び方で、様々な国との交流を行っているところでございます。その中におきまして、台南市につきましてもは交流促進協定締結都市ということで、この間交流を深めてきているところでございます。

• 10: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 趣旨を説明していただきました。

ホームページを見ると、何かワンランク下がっているように捉えられてしまうような懸念を持っております。台南市こそ親日家が多いところでございます。しっかりとこれももういっそのこと、名称すら変えるべきだというふうに思いますけど、御所見を伺いたいというふうに思います。

• 11: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 実は姉妹都市と友好都市というのもございますが、例えば姉妹都市というのは、中国などですと姉妹という言葉が上下関係を連想させるということがあります。また、アメリカのダラス市につきましては、同じアメリカのリバーサイド市と本市がもう既に姉妹都市であるということから、一国において姉妹都市は一つの都市とするという慣習があるということがございまして、この二つについては友好都市という名称を用いているところでございます。

いずれにしても、こういった友好提携につきましては、お互いの市同士で話し合いをし、その上で締結書を締結しているものでございますので、台南市と協議の上、交流促進協定締結都市という形で協定を結んでいるところでございます。

• 12: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 御説明いただきましたけど、いろんな協議の中でこういうふうに名称も決めているというのは理解しております。だからこそ、我々側からしっかりと友好都市、姉妹都市、このカテゴリーを上げるようなことをすべきだということを求めたいというふうに思います。

一方で、国内に移らせていただきますけど、宇和島市や白老町との交流、コロナ禍を含め、新年度を含め、こういった取組をするのかを確認をさせていただきます。

• 13: ○藤本副市長

検索語: なし

○藤本副市長 今年度は、宇和島市の事業として、仙台市の小中学校に宇和島産の養殖マダイを使った給食が提供されましたほか、食材に関するオンライン事業が行われております。

本市の事業としましては、宇和島市立伊達博物館での特別展の開催に合わせ、伊達武将隊を派遣し、本市の観光PRを行ったところでございます。

また、今年の2月、3月には、恒例となっており、私も楽しみに行ってまいりましたけれども、えひめ宇和島歴史姉妹都市フェアということで、秋保ヴィレッジで開催され、宇和島産のじゃこ天でありますとか、ジュースでありますとか、物産販売などが行われたところでございます。

新年度につきましては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえる必要がありますが、祭り開催に合わせた相互訪問などを検討いたしているところでございます。

• 14: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 副市長からも御紹介していただきましたけど、秋保ヴィレッジで行われた交流ですかね、イベントですかね、私もインターンを連れて行ってきました。宇和島市との歴史も分からなかったということで、お話をしながら連れて行って、私にもぎやかだったなというふうに覚えております。

続いて、第75号議案について伺いたいというふうに思います。

昨日の答弁で、経済費については拡大するんだと、歓迎するところであります。

一方で、子育て世代等臨時特別給付金は地方創生臨時交付金を活用して対応を求めました。経済対策にも活用しているから困難であるとの答弁でありました。当初、そもそも10万円の内訳は現金5万円、クーポン5万円の案でありました。現金10万円がいいと思っております。クーポン5万円というのは、経済支援でありました。諦めの悪い私でありますから、これ以上市民の皆様、小林局長を悪者にするわけにはいきません。市長、やらない理由、御説明をしていただければというふうに思います。

● 15: ○子供未来局長

検索語: なし

○子供未来局長 子育て世帯への臨時特別給付金でございますが、これは国の補助金によりまして、既存の児童手当制度の枠組みを活用して支給をするものでございまして、本市においてもこの趣旨を踏まえて事業を進めているというところでございます。

この給付金の所得制限撤廃につきましては、国補助の対象とならず、多額の財源を要するものでございます。本市といたしましては、本市の一般財源を投入すべき施策といたしまして、

この一時的な給付金の所得制限を撤廃するというのではなく、今後も継続的な支援をしていくべきという観点から、子ども医療費助成の所得制限のほうを撤廃するというものとしていただいております。

• 16: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 市長から答弁をいただきましたところでございますけど、時間もないので次に行きます。

コロナ対策について伺いたいというふうに思います。

新型コロナウイルス、オミクロン株による第6波の状況は一進一退であります。改めてありますが、対応していただいている保健所をはじめ医療従事者や関係者全ての皆様に感謝を申し上げます。

また、過日、さきの常任委員会で、今なお闘っている方、そして家庭内でケアしている方々に市長のメッセージを送ってくださいということで、対応していただいたことを感謝を申し上げますというふうに思います。

そこで質問に移らせていただきますが、令和4年3月9日、昨日ですね、39歳以下の軽症等の療養対応が変わりました。その変更理由と内容をお伺いしたいというふうに思います。

• 17: ○保健所副所長

検索語: なし

○保健所副所長　本市では、1月末の時点で宿泊療養施設の部屋数に対して新規患者数が急激に増加してきたことから、リスクのある患者が宿泊療養施設に入所できないことを避けるため、30代以下で重症化リスクの少ない患者を原則自宅療養に切り替えたところでございます。

今般、新規感染者数の急激な上昇が抑えられていること、県において新たに宿泊療養施設を確保したことにより、本市で懸念しておりましたリスクのある患者が宿泊療養施設に入所できなくなる可能性が低くなってきたということから、療養の方針につきまして、年齢にかかわらず原則宿泊療養とすることに切り替えたものでございます。

• 18: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　対応を切り替えたことによって自宅療養を宿泊施設、宿泊施設がどれだけ多くなるのかは別として、宿泊施設に多くなることも想定して考えなければいけないというふうに思っております。

我が会派の先輩議員が、宿泊療養施設の食事提供の改善を求めています。ところで、宿泊施設に入った方々は、出前、ウーバーイーツなど、そういったことを使えるのか使えないのかを教えてください。

• 19: ○保健所副所長

検索語: なし

○保健所副所長　　宿泊療養施設におきましては、出前業者が陽性者の居室に直接届けることにつきましては、感染防止の観点から困難でありますことから、現在、出前等については認めないと県から伺っております。

宿泊療養施設の生活につきましては、陽性者が療養する場としての性質などから、一定の制約があることはやむを得ないものと考えておるところでございます。その中にございまして、できるだけ快適に安心して過ごしていただける環境の整備は必要なものと考えてございまして、今後ともこういうことにつきましては県のほうにも提案してまいりたいと考えているところでございます。

• 20: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　県に提案すべきだということでしたけど、答弁もしていただきました。

質問しませんけど、実体験の中では、大人は出されたものを食べなさいというふうに言えます。周りのフロアの中には未就学児、また中学生以下、長い人では20日間も宿泊施設に入っているという方々があります。なので、出されたもの以外に食べるというのは多少のわがままなところもあるのかなというふうに理解するので、そういったウーバーイーツなどができるように、県に強く求めてください。質問はいたしません。

続いて、このコロナ対策の肝であります。今、指定感染症として2類の位置づけになっております。2類から5類への位置づけの変更をしなければいけないのかなというふうに強く感じる一人であります。宮城県議会では、過日の本会議で知事会での提案を求めておりました。仙台市も市長会で提案すべきであります。市長としてのお考え、そういったお考えがあるの

か、本当にこの2類で正しいのかと、そういうお考えを伺いたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

• 21: ○市長

検索語: なし

○市長 新型コロナウイルス感染症は、感染症法上、2類相当とされております。感染拡大時におきましても、積極的疫学調査を行う必要がございましたことなどから、全国的に保健所業務が逼迫したわけでございます。

こうした状況を受けまして、本市を含む指定都市市長会におきましても、1月25日に積極的疫学調査や療養支援の重点化、発生届の取扱いの見直しなどを求める旨の要請を国に対して行ったところでございます。

感染症法上の取扱いの見直しにつきましては、専門家の御意見なども踏まえながら国において検討がなされるものと認識しておりますが、第一線の保健所業務を担う本市といたしましても、感染の実態に即した対応となるよう、時期を捉えて、他の自治体とも連携し、国に働きかけてまいりたいと存じます。

• 22: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 今の政権政府は、人の話をよく聞くというふうに伺っております。市長会で出されていると。知事会でも出される、そして県内の市長会でも出されれば、後押しになりますので、ぜひに進めていただけるよう求めたいというふうに思います。

続いて、令和4年度の新規予算計上をされた3件について確認をしてみたいというふう
に思います。

まず一つ目ではありますが、犯罪被害者支援、私過去に一般質問を三度かけさせていただいて
おります。これに新規予算がついたことは歓迎いたしますが、まず整理をしたいので、政令指
定都市の制定状況と県内の制定状況、どのようになっているのかを確認したいというふうにし
ています。

• 23: ○市民生活課長

検索語: なし

○市民生活課長 犯罪被害者等の支援に関する条例を制定している政令指定都市は、令和4
年2月1日現在で14市でございます。

県内では、大衡村と色麻町で制定済みとなっており、また、報道等によりまして、さらに四
つの市町で制定に向けた動きがあると承知いたしております。

• 24: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 政令指定都市で14、そして県内でも動いているという状況でございま
す。

今回予算計上、28万4000円なんですけど、視察ということで示されております。どこ
に行くのか、そして趣旨の説明、改めてしていただければというふうに思います。

• 25: ○市民生活課長

検索語: なし

○市民生活課長 新年度におきましては、神戸市、福岡市に対する訪問調査を予定しております。

神戸市では、見舞金の支給や転居費用の助成のほか、ホームヘルパーの費用助成など、日常生活の支援に係る幅広い取組を行っております。

また、福岡市では、福岡県、北九州市と共に、広域的な取組として福岡犯罪被害者総合サポートセンターを設置し、専門的なノウハウのあるスタッフがカウンセリング等の支援を行っております。

これら先行する都市の取組に係る実務の詳細、関係部局間あるいは外部機関との連携体制等について学び、本市における支援の在り方を検討する上での参考にいたしたいと考えております。

• 26: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 神戸市ということでございますけど、私も昨年、第1会派の同期議員と3人で神戸に行ってきましたので、そこに行く予算計上があるのであれば我々に聞いてもらえればよかったなというふうに思っております。

話はちょっと変わりますが、仙台弁護士会と本市との関係はどういう関係なのかということをお伺いしたいと思います。

• 27: ○総務局長

検索語: なし

○総務局長　本市が設置をしております附属機関でありますとか、それに類似する協議会等、いろいろございますけれども、その審議に当たって、特に法的な観点からの検討でありますとか意見、そういったものが必要となる場面も多うございまして、弁護士を委員に選任をしているところでございます。その際には、弁護士会に推薦をする手続を通常取っておりますが、それぞれの設置しております附属機関の趣旨でありますとか役割、それから根拠法令等を示した上で、それらを踏まえた人選をお願いしております。

弁護士会においては、各弁護士の専門分野あるいは活動内容、これまでの附属機関委員としての実績などを考慮した上で、候補者を推薦をいただいているところでございます。

• 28: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　本市において弁護士会との協力、いろいろ市政運営する中でしていただいていることを認識をいたしました。

そこで、過日、仙台弁護士会の中で犯罪被害者支援条例を県内全部につくるべきだという決議が出されております。その内容、受け止めの御認識を伺いたいというふうに思います。

• 29: ○市民局長

検索語: なし

○市民局長　お尋ねの決議文でございますけれども、2月28日付で県内関係市町村に発出がされております。犯罪被害者の皆様が様々な問題に直面をされていること、その生活基盤が置かれている地方公共団体による支援の充実が必要であること、支援の質と継続性を確保する観点から条例の制定が重要であること、これらのことが記されてございます。県内全ての市と町に条例の制定を求める内容でございました。

私どもといたしましても、犯罪被害者支援は喫緊の課題でございまして、被害者の皆様に寄り添い、総合的に施策を進めていくことが必要であると改めて認識をいたしたところでございます。

• 30: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　条例が必要だという、決議文の中にも記載をされております。

前段で政令指定都市の制定状況を確認しました。市長、福岡市はつくってないんですよ。ライバル市の福岡市は。福岡県はつくってるんですけど。これね、チャンスですよ。市長、チャンス。チャンス。つくりましょう。いかがでしょうか。

• 31: ○市長

検索語: なし

○市長　不幸にも犯罪に巻き込まれた御本人や御家族の方々というのは、心身に受ける御負担は大変深刻なものであって、皆様が少しずつでも日常の平穏な暮らしを取り戻すために支援を行うということは、極めて重要な取組であるというふうに認識をしているところでござい

す。

現在、他都市の実例も参考としながら庁内で議論を進めているところでございますが、本市といたしまして今後どのような支援の仕組みを具体的に構築していけばよいのか、引き続き検討を重ねてまいりたいと存じます。

• 32: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　ぜひよろしくお願いをいたします。

続いて、町内会について伺いたいというふうに思います。

（仮称）町内会応援！プロジェクトが示され、夏祭りの助成を上げていただくもの、歓迎するものでございます。そして、区長を経験された今の局長、私の町内会にも来ていただいて、最初から最後までいていただいた記憶があるなど、強い思い出があるのかなというふうに思っております。

我が会派の田村勝議員は、これは単発的に終わらすべきではなく継続的に支援すべきだというふうに求めています。今年、しっかりと実現をさせていただいて、継続してやるべきだというふうに思いますが、改めて御所見を伺いたいというふうに思います。

• 33: ○市民局長

検索語: なし

○市民局長　　お尋ねのコミュニティまつり助成金の上乗せでございますが、コロナ禍により活動の制限を余儀なくされた町内会が、祭りの復活を通じましてその活動を再始動し、地域の

活力を取り戻すための後押しをする、このことを目的としておりまして、その趣旨から、新年度1年に限って実施をするということといたしたものでございます。

一方、多くの町内会においては、様々な課題を抱えていらっしゃるところでございますので、加入促進や担い手確保に向けた事業、あるいは地域課題の掘り起こしに向けた取組への助成など、各般の施策を組み合わせながら、引き続きその支援に努めてまいりたいというふうに考えております。

• 34: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　私も単位町内の会長を受けておりますけど、夏祭りはやらなかったんですけど、実は新春祭りをやりました。久しぶりの開催で、喜んでおりました。時期を逸することなくしっかりやっていきますので、市として活用していただくように、地域の町内に勧めていきますので、しっかり町内会を応援するために頑張っていきたいと思います。

町内会を応援する、そして活動する場として、市民センターは欠かせない場所でございます。過日、市民センターのW i - F i 設置を求めておりまして、実現に至っていることは感謝を申し上げたいというふうに思います。

現状使っている中で、御利用者のお声はどんな感じなのかということを確認したいというふうに思います。

• 35: ○地域政策課長

検索語: なし

○地域政策課長 Wi-Fi整備後は、主にオンラインの研修や会議等で利用されております。

利用者の方からは、便利になった、3密を避けることができた、活動の幅が広がった等の声をいただいております。

• 36: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 もうちょっとまともな感想があるのかなと思いましたが、それはさておいて、市民センターにつけていただくと、次はコミュニティ・センター、また児童館と、こうやって広がってきますので、今のうちからしっかりと整備状況を準備するようになっていただければというふうに思います。

続いて、町内会で活動する中で、猫問題がやっぱり我々の町内でも、集合住宅なのでないのかなというふうに思ったんですけど、議員提案で仙台市人と猫との共生に関する条例をつくりましたので、その現状と認識、どんな状況なのか確認したいというふうに思います。

• 37: ○動物管理センター所長

検索語: なし

○動物管理センター所長 仙台市獣医師会が実施主体である飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成制度は、飼い主のいない猫の繁殖を防ぎ、頭数を徐々に減らすことによる、人も猫も住みやすい環境づくりを目的としており、本市は助成金の一部について補助を行っております。

実績としては、令和2年度には643頭の利用があり、今年度については1月までに716

頭と、獣医師会が予定していた上限頭数に達したため、受付を終了しております。

利用された方からは、費用負担が軽減され、ありがたいとお声が多く、飼い主のいない猫の繁殖防止に有効に活用いただいているものと認識しております。

• 38: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 非常に多く利用されていると。うちの町内も、捕獲したんだけど補助が終わったなんて言われて、私町内会長だから、もう使いなさいというふうなことでやりましたけど、助成額が打ち切られていると。これは臨機応変な対応をすべきなのかなというふうに思っておりますけど、拡充ありきではなく臨機応変な対応というのが必要だと思うんですけど、その辺、新年度どのようにしていただけるのか、確認をしたいと思います。

• 39: ○動物管理センター所長

検索語: なし

○動物管理センター所長 飼い主のいない猫を減らしていくためには、猫を遺棄しないことや屋内飼養など、まずはそのような猫をつくらないことが必要でございます。

一方、現に地域にいる飼い主のいない猫は、不妊去勢手術により繁殖を制限し、地域猫活動などにより適正に管理することが重要でございます。

助成制度につきまして、より御利用いただきやすいものとすることや、拡充の可能性について、引き続き実施主体である仙台市獣医師会と協議を行いますとともに、適正な飼養について

の周知など、取組の充実を図ってまいります。

• 40: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ありがとうございます。

御説明いただいたとおり、とにかく飼い主のいない猫をつくらないということが重要であります。そういった意味では、理解啓発が重要であります。仙台市議会には、にゃんこ先生と呼ばれる、猫発信を強力にしている方がいまして、市長、その方の近くの家に引っ越されたということでもありますから、これ、仮にメイクして何かやれば、バズって非常に広がるんだなというふうに思うんですよ。ぜひ市長自らこの部分も理解啓発について発信していただきたいなというふうに思いますが、御所見を伺いたいというふうに思います。

• 41: ○市長

検索語: なし

○市長 議会の皆様方の御尽力によって条例をつくってくださり、今そのように地域猫活動をどうやって進めていくのかということで、市民の皆様方にお取組をいただいているところでございます。

おっしゃるように、議会の皆様方も地域で様々な御発信をいただいているものと思いますが、私といたしましてもそのようにさせていただきたく存じます。

• 42: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 続いてありますが、我が太白区に、実は坪沼小学校の跡地に東北初の私立不登校特例校が設置されることが過日報道されました。地域では、実はウェルカムの状況でございます。ここについての地域の声、どのような声があるのかを確認したいというふうに思っています。

• 43: ○学校規模適正化推進室長

検索語: なし

○学校規模適正化推進室長 坪沼小学校跡施設の利活用事業につきましては、1月22日に不登校特例校の設置予定事業者より地域住民の皆様説明会が開かれたところでございます。

説明会では、設置準備を進めている学校の運営内容のほか、地域行事等での学校施設の利用の継続に加え、学校と地域の連携事業についても相談していきたいとの説明がございました。

その際、地域の皆様からは、坪沼小の有効活用が決まり安心したというお声のほか、学校運営に協力していきたいなど、好意的な御意見をいただいたところでございます。

• 44: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 地域では喜びの声があるということ、まず皆様に知っていただきたいのと。

あと、不登校そのものについては後段で菊地崇良議員が厳しくやりますので、乞う御期待と

ということで、お願いいたします。

この坪沼小学校の跡地、今市民の声を受けて、市長、この学校に期待するものってどういったものがあるのかなというふうなことをお伺いしたいと思います。

• 45: ○市長

検索語: なし

○市長 不登校特例校は、不登校の児童生徒の皆さんたちに多様な教育の機会の確保ということの視点から、特別な教育課程を編成した上で柔軟な授業を行っていくということで、大変期待をしているところでございます。

市内への特例校の設置は、子供たちの社会的な自立に向けて、学びの選択肢が広がることにつながります。さらには、教育環境充実の視点からも大きいものがあるというふうに思っているところです。さらに、民間のアイデアを生かした地域貢献の取組にも期待をしております。

設置に向け法人が準備を進められていると伺っておりまして、本市といたしましても情報交換を密にし、協力してまいりたいと存じます。

• 46: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 新年度、新規予算、3点目について伺いたいというふうに思います。

安心して暮らせる地域づくりの中で、親亡き後の生活設計が予算計上されております。制度の趣旨と設置した理由をお伺いしたいというふうに思います。

• 47: ○障害者支援課長

検索語: なし

○障害者支援課長 障害者の家族支援やひきこもり者支援の課題として、子供の介護や生活費の確保など、将来に不安を抱える親御さんが御家族だけで問題を抱え込んでしまうことがございます。こうしたことを防ぎ、早期に対応策を検討できますよう、令和4年度の新規事業として開始する予定の親なきあと生活設計事業は、生活の基盤となる経済的な準備など、見通しを持っていただけますよう、ファイナンシャルプランナー等が御相談に応じるものです。このような取組で、いわゆる8050問題といわれる親亡き後の生活への不安を軽減していくことを通じ、地域で安心して生活していけますよう支援を続けてまいります。

• 48: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 先手の取組として、非常に高く評価したいというふうに思います。過日、私もこの問題、担当課長と話をさせていただきました、進めたい団体からは、担当課長の思いの籠もった非常にすばらしい取組だというふうに伺っておりますので、応援していきますので、共に一緒に頑張っていきましょう。

教育費でも伺っておりますが、障害者の法定雇用率、これはやっぱり継続して聞いていかなければいけないというふうに思っております。市長部局での障害者法定雇用率について、現状をお伺いしたいと思います。

• 49: ○総務局長

検索語: なし

○総務局長 令和元年6月に関係法令の改正もございまして、国、地方公共団体は自らが率先して障害者雇用に努めることが明確化されております。それを受けまして、本市におきましても障害者活躍推進計画、市の計画を策定をして、るる取り組んでおるところでございます。

現在、本市の障害者雇用率は市長部局と各企業を合算して算定をしておりますが、現時点においては法定雇用率を充足しているところでございます。

今後とも、元年からは障害種別も廃止をいたしまして職員採用を行っておりますが、それらを継続するとともに、会計年度任用職員としての採用にも力を入れておりまして、それらの取組も進めてまいりたいと考えております。

そういう中で大事になってきますのは、やはり採用後に職場にしっかりと定着してもらうという取組も併せて行いませんと効果が出ませんので、障害に配慮した配置管理でありますとか所属長向けの研修、あるいは補助器具の貸与等々、職場環境の整備も併せて行いながら、障害者雇用の促進に努めてまいりたいと考えております。

• 50: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 障害者就労、非常に大変な分野だというふうに思っております。三つの課題があるということで、離職してしまうというところも対応していただいておりますので、ありがとうございます。

続いて、我が会派、一般質問で佐藤正昭議員が触れましたアイスリンクについて伺いたいというふうに思います。

我が会派はじめ、賛同の声が非常に多く届いております。私自身にも届いております。とこ

ろで市長にはこういった問合せがあるのかを確認したいというふうに思います。

• 51: ○市長

検索語: なし

○市長 先日の議論の後ということでお話をいたしますと、私のところには個人的にはどなたからも、何らもお話が来ておりません。ただ、スポーツ振興課には市民の方からアイスリンクの建設を求める投書が1件寄せられたと聞いているところでございます。

• 52: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 市長にはないんですね。残念だなというふうに思います。

男女金メダリストと私の共通点を探すと、母校なんですよ。どうしても東北高校出身の方って謙虚な方が多いのかなというふうに思います。とはいえ、全国的には非常にアピールされております。週刊誌にも記載をしておりました。担当局で見られた方の感想を伺いたいなというふうに思いますので、御回答をお願いいたします。

• 53: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長 ただいま御指摘の記事でございますけれども、私のほうでも拝読させていただいております。仙台におけるアイススケート環境のこれまでの経緯ですとか、アイスリンク

ク整備を期待する関係者の様々な声などを御紹介いただいたものと承知をしております。

• 54: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　例えばアイスリンクができたときに、学校教育の独自の事業としてそういったスケートの授業ってできるのではないのかなというふうに思うんですよ。今、学校の授業で取り組んでいる学校数などをちょっと教えていただければと思います。

• 55: ○健康教育課長

検索語: なし

○健康教育課長　スケート授業でございますけれども、現在、一部の学校におきまして、費用を各自負担をしていただく形で、主に小学校3、4年生を対象として行われております。コロナ禍以前の令和元年度は28校、令和2年度は18校が実施をしております。

• 56: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　仙台市内で28校、コロナ前はやっていたということでございますけど、これはリンクができれば学校の授業でできるのではないのかなというところも考えられるのかなと。

また、今札幌市では冬季オリンピックを誘致しております。札幌市では、冬季オリンピック開催にもかかわらず、マラソン競技が行われたということがあります。仮にスケートリンクが

あれば、そういう恩恵にもあずかれるのではないのかなというふうに思うんですけど、その辺の御所見みたいなのがあればお伺いしたいと思います。

• 57: ○文化観光局長

検索語: なし

○文化観光局長　やはりオリンピックなどそういう大きな国際的な大会などがございまして、そしてさらに日本人の活躍などがございまして、特定のスポーツ種目に注目が集まって、競技人口の拡大につながっていくということもあろうかと思えます。そうした意味におきまして、札幌冬季五輪の開催などが決定しますと、それが契機となってアイススケートなどの競技人口も増えていくという可能性はあるものと考えております。

• 58: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　我が会派の佐藤正昭議員は、とにかく本市として旗振り役になっていただきたいと。そして過去にも先輩議員が、やはりつくるべきだという議論をしていたというのは私も記憶しております。これね、何が大きかって、やっぱりタイミングなんだと思えますよ。私自身に問い合わせてきた方は、前の校長先生ですよ。このタイミングが重要なんだと熱弁されました。これ答弁求めようと思いましたが、多分変わらない答弁なので、聞きません。ぜひにタイミングを逸することなくやっていただきたいというふうに思います。

私から用意させていただいた最後の質問に移らせていただきたいというふうに思いますが、政府では菅前総理の強烈な思いで不妊治療の保険適用が拡充され、適用されました。大変

喜ばしく、短命、1年間の短い中で、コロナ禍で、この取組をしていただいたことを高く評価したいというふうに思います。

財政的な支援は政府が行ってもらいました。悩まれている方に寄り添い、相談体制について決算等審査特別委員会でも私も確認をいたしました。

そこで、本市では宮城県と共同事業の不妊・不育専門相談センター事業が行われていますが、新年度の妊活としての情報セミナーの開催はどのように行うかを確認をいたします。

- 59: ○子供保健福祉課長

検索語: なし

○子供保健福祉課長 将来子供を授かりたいと思う方が、若いうちから御自身の体のことや妊娠、出産について学ぶことは、ライフプランを考える上で大切なことと認識しております。

いわゆる妊活セミナーは、現在不妊治療を実施する医療機関などでも行われておりますが、本市におきましても、中高生を対象とする思春期健康教育や、若手社員の方に向けたライフプランセミナーなどで、妊娠、出産、育児などについて男女を問わず考えるきっかけを提供し、啓発しているところです。

将来子供を授かりたいと思う方への情報提供につきましては、その効果的な在り方も含めて、今後検討してまいりたいと考えております。

- 60: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　後段での質問の部分も一気に御回答していただいたのかなというふうに思っておりますけど、やはり不妊治療というのはパートナーの理解、そして性教育の部分が非常に重要であります。ここをさらなる拡充を求めたいというふうに思います。ここについてはもう答弁を求めませんが、ぜひにそういった認識で担当局が取り組んでいただくことをお願いを申し上げたいというふうに思います。

新年度予算、議員になってたった6年でありますけど、予算編成を審議している中で、来年度予算編成が市民の生活向上、そして幸福になることを願い、私からの質問は終わらせていただきます。